

「永遠のマブライー群島・奄美の世界観」

山中順子さん 写真展 ヨコハマに深い感動の嵐

さん群がシ食奄深
のマブライーに開き
の横濱市市街に、深い
の構成した語で、観客に
写る（と）写真で盛り込んだヨコハマの
写真家山中順子さんと、写真展「永遠（と）写真で盛り込んだヨコハマの
奄美を撮り続けていく（37）の写真展「永遠（と）写真で盛り込んだヨコハマの
島・奄美の世界観」が、映像を表現。訪れた港の感動を与えた。

写真展は、横浜市の中心街にある「ZAIM」(財務)であった。テーマの「マブライー」は、徳之島に属する「自然の神々」に守られ、祖先に導かれて今の思ひがある」といふ考え。

会場は月明かりを意味する青で統一され、五十点の写真で長寿、食、産業、ユタ(シャーマン)、ツール(古器)、祭の、聖地など九つのコーナーを配置。正面の壁には満月の夜に撮った立神の写真(縦一丈、横三丈)。中央には奄美から取り寄せたサンゴの石垣や白

砂、野草でクンギン(神石)を造り、その周辺を歌や踊りのステージとした。独自に撮影した映像も常時上映されたほか、加計呂麻島で撮影したティゴの老木を横二尺、高さ三尺の特大プリントした。写真が人目を引いた。ステージでは、加計呂石を造り、その周辺を歌や踊りのステージとした。独自に撮影した映像も常時上映されたほか、加計呂麻島で撮影したティゴの老木を横二尺、高さ三尺の特大プリントした。写真が人目を引いた。ステージでは、加計呂

入って、会場は奄美一色に染まった。また、奄美の文化と新たな共演として、女優の小川知子さんの語りや女優でダンサーの更紗さんの踊り、国内外で活動している津鯊三味線の久保田祐司さんの演奏もあった。

山中さんは、二〇〇〇年から「生命」をテーマに奄美各島に連日、百歳の長寿者や新生児を中心に撮影している。最近では長寿者が暮らすシマの環境、島人の置き方、古くから伝わる考

天井からつるした横2尺、高さ3尺の巨大な写真で観客を引き付けた山中さんの写真展。会場は、月明かりを意味する青で統一された



え方などシマの深みや多様性を撮り続け、独自の企画、構成で新たな奄美を発信し、注目されている。

今回のイベントについて山中さんは「奄美で頂いた、たくさんの方の書きや恵み、生命感を横濱や現代人の内面に添え、いつの時代にも色あせない深いままに、身や心の置き方を抱き合っている」と話した。

また、奄美の文化と新たな共演として、女優の小川知子さんの語りや女優でダンサーの更紗さんの踊り、国内外で活動している津鯊三味線の久保田祐司さんの演奏もあった。

山中さんは、二〇〇〇年から「生命」をテーマに奄美各島に連日、百歳の長寿者や新生児を中心に撮影している。最近では長寿者が暮らすシマの環境、島人の置き方、古くから伝わる考